

調書番号	08-03	基準年月日	令和5年3月1日
所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局道路課長 泉 智夫
		担当係	道路計画係 (内) 29-218

I 基本事項						
事業種別	道路改築事業費（地域連携道路事業費補助）					
ふりがな 地区名	ゆうばしんとくせん 夕張新得線			市町村名	新得町	
事業期間	採択	R6 (2024)	完了	R11 (2029)	総事業費	2,080 百万円
負担割合	国	60.0%	道	40.0%	市町村	その他
		1,248		832	0	—
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新設されるインターチェンジと連携し新得町をはじめとした十勝管内の町と他地域との移動時間を短縮し、地域振興への寄与を図る。</li> <li>●道東自動車道から十勝北部への時間短縮により、主要観光地へのアクセス向上など、観光振興への寄与を図る。</li> <li>●近年の激甚化する災害時に道東自動車道や防災拠点として新たに整備予定である道の駅と連携し、広域的な救援活動に必要な輸送路等、防災体制の強化を図る。</li> <li>●十勝北部から道東自動車道へのアクセス向上により、新たな農産品輸送ルートを構築し、地域産業を支援する。</li> </ul> <p>【アウトカム】 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートICとの連携による移動時間の短縮</li> <li>●主要観光地へのアクセス向上</li> <li>●大規模災害時の輸送ルート確保</li> <li>●新たな農産品輸送ルートの構築</li> </ul>					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本路線は北海道横断自動車道（以下、道東自動車道）に設置される（仮称）新得スマートICへのアクセスルートとして、新得スマートIC～新得町市街地を結ぶL=4.54kmの道路改築事業である。</li> <li>●インターチェンジに接続するための、対面通行可能な2車線道路を新たに整備するものである。</li> </ul>					
工事費内訳	延長 L=4.54km 幅員（現道）W=3.0～5.0m程度 ⇒（計画）8.0m（1.25+2@2.75+1.25）					（百万円）
	道路工	L=4.54km				1,880
	測量設計費	N=一式				110
	用地費及び補償費	N=9件				90
	計					2,080
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名	
		人・地域	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備	連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成	安全・安心な道路網の充実	
特定分野別計画での位置づけ	施策目標	【計画名：北海道強靱化計画 P44】 （道内交通ネットワークの整備） 災害時における広域交通の分断を回避するため、高規格幹線道路と中心市街地を連結するアクセス道路の整備をはじめ、地域高規格道路や緊急輸送道路、避難路等の整備を計画的に推進する。				
	関連する指標	-				

II 評価					
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●札幌方面～新得町への移動は高速道路利用が最短距離となるが、清水町方面に約13km迂回する必要があるが、交通利便性に課題がある。道東自動車道から新得町をはじめとした十勝北部へのアクセス性向上が求められている。</li> <li>●平成28（2016）年の台風、令和4（2022）年の豪雨により国道274号や国道38号が通行止めとなった際には道東自動車道が無料開放され緊急輸送道路として機能したが、新得町方面への直接アクセスが出来ず、災害時の安全性や交通ネットワークへの課題がある。道路ネットワークの多重化による防災体制の強化が求められている。</li> <li>●新得スマートIC計画位置まで一次アクセス道路がなく、農産品の輸送や、救急輸送ルート構築のために、スマートICと連携した本路線の整備が必要である。</li> </ul>				
2. 適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●追加インターチェンジにアクセスする道路は、整備効果が広域的であることから、新得市街地までのアクセス道路の一部を道道として整備する。</li> <li>●道道として、道路認定（平成6（1994）年道告示503号）しており、道が事業を実施する。</li> </ul>				
3. 代替案の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画ルートは、河川敷地や民地への影響を最小限とすることを目標にルートを比較検討し、走行性やコスト面から最も優位な案を選定した。</li> </ul>				
4. 緊急性・優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新得スマートICは令和11（2029）年度供用開始で計画されているが、現時点で新得スマートICまで円滑にアクセスするルートが存在していないことから、スマートICと連携した事業効果発現のために本事業を早期に着手する必要がある。</li> <li>●新得町では観光振興や定住促進に向けた取り組みを推進しており、市街地の再整備やスマートICに接続する道の駅を整備予定であることからこれらの施設整備に合わせて優先的に交通ネットワーク充実を図り十勝北部地域への整備効果波及を図る。</li> <li>●近年台風や大雨により新得町周辺の国道が通行止になっており、防災体制強化が求められていることから、スマートICと連携した道路ネットワークの多重化は急務である。</li> </ul>				
5. 環境への影響・配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工事実施に際しては、排出ガス対策型機械の使用及び低騒音の機械を採用するなど、地域環境に配慮して事業を進める。</li> <li>●河川汚濁防止対策など自然環境に配慮した施工方法を実施していく。</li> <li>●環境調査について、令和4（2022）年度は現地踏査および資料調査を実施しており、事業実施により大きな影響を及ぼす動植物は確認されていない。今年度以降、詳細調査を行った上で、環境に対して配慮すべき事項を整理し事業を実施する。</li> </ul>				
6. 妥当性	根拠法令等	道路法、北海道道路の構造の技術的基準等を定める条例			
	その他	北海道総合計画、北海道強靱化計画			
【地域の動向・意向】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成15（2003）年～ 新得町がインターチェンジ設置に関し国・道へ要望</li> <li>●平成28（2016）～令和2（2020）年 関係機関による連絡調整会議開催（計 7回）</li> <li>●令和3（2021）年8月 国が事業化へ向けた準備段階調査に着手</li> <li>●令和3（2021）年11月～ 関係機関による準備会開催（第1回：R3.11、第2回：R4.4）</li> <li>●令和4（2022）年8月 新得町が地区協議会を開催し、実施計画書を提出</li> <li>●令和4（2022）年9月 高速自動車国道法に基づく整備計画変更（連結許可）</li> </ul>				
	<b>【事業関係手続】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和4（2022）年3月 夕張新得線の区域変更によるルート変更の方針決定</li> <li>●令和4（2022）年 道路の予備設計を実施し、ルートや構造について検討</li> </ul>				
7. 事業効果	経済効果の内訳（百万円）		費用の内訳（百万円）		B/C
	走行時間短縮便益	2,602	事業費	1,755	1.57
	走行経費減少便益	521	維持管理費	274	
	交通事故減少便益	72			
	計（B）	3,195	合計（C）	2,029	
<b>【備考】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「費用便益分析マニュアル」（国土交通省R4）に基づき算出</li> <li>●効果及び費用は、「整備期間＋完了後50年間」で算出し、R5年に現在価値化している。</li> <li>●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。</li> <li>●維持管理費は、町に移管予定分の延長を控除したL=3.94kmを算出。</li> </ul>					
8. 事業特性による特記事項	<b>【協議・調整状況】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●協議事項：ICおよび道の駅への接続に関して国および新得町との調整、沿道農地の地権者協議</li> <li>●実施状況：施工区分について協議中であり、事業着手のR6（2024）までに完了する予定で進めている</li> </ul>				
	<b>【その他】</b> 特になし				
III 今後の対処方針					
対処方針	新規ICへのアクセス強化による観光、農業など地域活性化支援や防災体制の強化など必要性が高い。また、ICや道の駅の施工に合わせ連携してアクセス道路の整備を行う必要があり、緊急性も高いことから、新規の事業要望を行うことは妥当である。				
	a	a：要望を行うことは妥当 b：要望に当たって検討を要する c：要望を行うことは妥当でない			

# 事業概要図

事業名	道路改築事業費 (地域連携道路事業費補助)	地区名	(主)夕張新得線
-----	--------------------------	-----	----------

事業地区位置図



【標準断面図】

